

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 19 年 4 月 5 日 (2007.4.5)

【公表番号】特表 2002-537099 (P2002-537099A)

【公表日】平成 14 年 11 月 5 日 (2002.11.5)

【出願番号】特願 2000-599520 (P2000-599520)

【国際特許分類】

**B 0 5 D 1/36 (2006.01)**

**B 0 5 D 3/04 (2006.01)**

**B 0 5 D 7/14 (2006.01)**

【F I】

B 0 5 D 1/36 B

B 0 5 D 3/04 Z

B 0 5 D 7/14 L

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 2 月 7 日 (2007.2.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】自動車用 2 層トップコートを製造する方法

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 色彩および/または効果を付与する水性のベースラッカーコーティング組成物から施されているベースラッカー層に、クリアラッカーコーティング組成物の透明な仕上げラッカー層が施されそして空気に暴露され、そしてこれらの 2 つの層と一緒にベークされる、自動車用のシリーズラッカー塗装装置で自動車車体上に 2 層の色彩および/または効果付与トップコートを形成する方法であって、40～70%の高固形物値で有機溶媒を含有する水性ベースラッカーコーティング組成物が使用され、その際ベースラッカー層が施された後そして透明な仕上げラッカー層が施される前に、水性ベースラッカー層が付与された領域に基づいて空気の通入量を 0.10～0.70 m/秒にして、25～45 の循環空気を使用し、ベースラッカー層が 30～180 秒間空気に暴露されることを特徴とする、上記トップコートを形成する方法。

【請求項 2】 水性ベースラッカーコーティング組成物が有機溶媒を 20～30 重量%含有することを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】 有機溶媒が、水と容易に混合可能であるか、あるいは混合性ギャップがない低沸点の溶媒を 30～60 重量%含有することを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の方法。